

教育目標

臨川で共に育つことに誇りをもち、互いの違いを認め励まし合う豊かな心と、時代の変化に柔軟に対処する知恵を身に付け、たくましく未来を創造していく幼児たちを育成することを目指し、次の目標を設定する。

やさしく つよく かしく

目指す幼稚園像

子供がまんなか 子供が主役 笑顔でみんながつながる幼稚園

○園児も教師も保護者も地域の方も、園に関わるすべての人がつながりの中で学び合い育ち合い、成長できる幼稚園

○「やってみよう」があふれ、夢中になって遊び込むことができる幼稚園

○対話によって自分を素直に表すことができる幼稚園

重点取組

☆遊びを通して幼児の資質・能力を一体的に育むための環境の工夫

- ・保育室内外の環境を教師と幼児が共に創造する
- ・幼児の興味関心を見取って意欲を引き出すことができる、教師自身の専門性の向上

☆幼小連携のより一層の推進（お互いにとってWin Winな取組に）

- ・小学校併設園である特色を生かし、施設利用、園児と児童の交流、行事への参加により教育活動を充実させる
- ・幼小の教員が、「育みたい資質・能力の三つの柱」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共通理解することにより、幼小の教育内容の円滑な接続を図る

基本方針①

子供たちにとっての幼稚園

- ・心ゆくまで遊び込むことができる時間と環境が保障され、自分の好きなことを見付けられる
- ・自分のことを自分でしていくための基本的生活習慣の定着が図られる
- ・好奇心と探究心をもって、主体的に「人・物・こと」と向き合い、関わろうとする意欲が育まれる
- ・全身を使って思い切り遊び、健やかな体と安全に対する構えが育まれる
- ・話す、聞く、伝え合う喜びを味わい、言葉に対する感覚が育まれる
- ・その子らしさや持ち味が理解され、大切にされ、生かされるような温かな人との関わりが生み出される

基本方針②

教職員にとっての幼稚園

- ・幼児や保護者、同僚との対話を大切にし、自他の思いに真摯に向き合う関係性が築かれる
- ・教師も個々の持ち味や経験、自分の得意なことを安心して発揮でき、チームで協働する楽しさと喜びを味わうことができる
- ・教師自らが「自分の理想の教師像」を目指すことにやりがいを感じ、実践を通して自己研鑽を図る環境と研究・研修の機会が提供される
- ・ICTの有効な活用等により、働き方改革が一層促進され、教師自身のワークライフバランスが図られる

基本方針③

保護者・地域にとっての幼稚園

- ・園と保護者、保護者同士が信頼関係でつながり、園児の成長を共に喜び合える
- ・PTA活動や行事への参加・参画により、園児の活動の一層の充実を図る
- ・様々な教育活動を地域にも開いて協働することにより、園児が地域の未来の宝となり、地域全体の活性化につながるようにする
- ・地域の教育資源を活用し、園の教育活動の一層の充実につなげる